

## 国土交通大臣賞

### 柳ヶ瀬を楽しいまちにする株式会社

◆所在地：岐阜県岐阜市

◆活動概要：市最大の繁華街である柳ヶ瀬をフィールドに定期マーケットを継続開催し、個性のある魅力的な店舗を増やすことで新たな買い物客を創出して、安定的に事業収益を確保するとともに、大型の空きビルを店舗やアトリエ等の集客施設へリノベーションしたり、人中心のまちなか空間への転換に向けて歩行者のために道路空間を活用するなど、まちなかの賑わい再生と地域の価値向上に大きく貢献しています。

◆選定理由：まちの衰退により空き店舗や道路等の余剰化した空間を活用することによるエリア価値の向上を目指して、商店街の新陳代謝やエリア全体のブランドイメージコントロールなど戦略的に取り組まれており、まちの活性化や賑わいの創出に貢献し、先導性、多様性、効果に優れた取組であると評価されました。



▲サンデービルディングマーケット



▲ヤナガセパークライン

## 審査委員長賞

### 株式会社 楽市白河

◆所在地：福島県白河市

◆活動概要：駅舎待合室のカフェへのリノベーションや、まちなか居住を促すマンションの建設・管理、市民交流センターでのイベント開催等により中心市街地の活性化に取り組むとともに、えきかふえや宅配弁当事業等の地域貢献事業を展開するなど、多様な事業に戦略的に取り組み、中心市街地の活性化に貢献しています。

◆選定理由：マンションや商業施設等の不動産収入を原資として、高齢者の健康確認を兼ねた宅配弁当事業等の地域貢献事業を行うなど、多様な事業を市民活動の延長として継続的に取り組み、地域の再生・活性化に貢献し、継続性が高く評価されました。



▲えきかふえ shirakawa



▲宅配弁当による健康確認

## 審査委員長賞

### 一般社団法人 T C C M

◆所在地：愛知県豊田市

◆活動概要：豊田市駅前において、再開発ビル広場や道路、都市公園、美術館の公共空間等を活用したまちなかの賑わい創出や、中心市街地への集客、魅力発信及び連携を目的としたプロモーション事業の展開によるまち・エリアの価値向上など、官民連携による公共空間等のエリマネジメントを実現しており、まちなかの活性化に貢献しています。

◆選定理由：官民が連携して、手続きをワンストップ化して広場を一体的に活用できる仕組みを構築するなど戦略的に公共空間を活用・運営するとともに、多様な主体と連携した集客イベントなどまちなかの賑わいづくりに貢献し、多様性、先導性が高く評価されました。



▲再開発ビル広場の活用



▲とよたまちパワーフェスタ

## 審査委員長賞

### 草津まちづくり株式会社

◆所在地：滋賀県草津市

◆活動概要：中心市街地を分断していた低未利用の廃川敷地を都市公園に整備し、公園内で店舗の建設や誘致を行い新たな賑わいを創出するとともに、都市再生推進法人として市と都市利便増進協定を結び、店舗運営で得た収益を公園内の植栽やベンチ設置等のエリマネに還流して、利用者の快適性向上に取り組み、まちの賑わい創出に貢献しています。

◆選定理由：都市再生推進法人として、廃川跡地に整備した都市公園内の店舗運営で得た収益をエリマネに還流して賑わいの創出に繋げるとともに、中心市街地の空き店舗率を改善するなど、まちなかの再生・魅力向上に貢献し、継続性、多様性が高く評価されました。



▲草津川跡地公園



▲中心市街地の空き店舗の改善

## 総 評

これからの民間施設及び都市施設を活用した地域のまちづくりにおいては、まちづくり法人が中心となって、事業収入を確保しながら、その経営能力やコミュニティのつながりを活かして、持続的にまちづくりを推進することが期待されています。

第9回目となる今回のまちづくり法人表彰においては、まちの活性化や魅力創出に貢献した取組等、全国から多くの優れた取組の応募がありました。

厳正な審査の結果、1件の「国土交通大臣賞」を選定するとともに、今後の更なる活動の発展を期待する取組について審査委員会から3件の「審査委員長賞」を選定することといたしました。今回受賞された取組は、先導性・公益性・多様性・継続性・効果の観点から、総合的に優れており、全国のモデルとなるような取組として審査委員会の高い評価を得たものです。

今回惜しくも受賞に至らなかった取組を含め、次回もより多くの優れた取組が応募されることを期待しております。

### 《まちづくり法人表彰等審査委員会》

委員長	奥野 信宏	(名古屋都市センター所長)
委員	佐藤 滋	(早稲田大学大学院教授)
委員	村木 美貴	(千葉大学大学院工学研究科教授)
委員	山崎 智之	((株)日本政策投資銀行地域企画部課長)

(敬称略、五十音順)